



港南防災ネットワーク便り

2019年3月号

❗「港南地域 防災まち歩き」 (港南中学校防災教育)

説明員として協力参加 - 2月16日 -

港南中学校では、防災知識の普及・啓発と地域にある施設や防災設備に直接触れて学ぶために「港南地域防災まち歩き」を昨年から実施しています。

(協力：協働推進課・高輪消防署港南出張所・高輪消防団第4分団・港南の郷・港南防災ネットワーク)



高浜水門

東京港には19基の水門がありますが、そのうちの4基(古川水門・日の出水門・高浜水門・天王洲水門)が、芝浦港南地区にあります。

港南地域を守る海岸保全施設は水門と排水機場防潮堤・陸こう等があることを学びました。

(高浜水門はローラーゲート式の水門で、鉄の扉2枚でできている。)

港南緑水公園

何気なく遊んでいた公園内にあったかまどベンチとマンホールトイレ。防災設備を見学し説明を受けました。

また、高輪消防団第4分団の皆さまからは公園入り口にある消防団の倉庫を見せていただき、災害時に利用する資器材の説明を受けました。

(マンホールトイレ配置状況 ⇒ 港南緑水公園20基)



消火栓からの応急給水 (スタンドパイプ)

災害時の給水ステーションとなる消火栓を使って、応急給水装置の仕組みを学びました。

(消火栓にスタンドパイプを設置し応急給水栓につなげます。消火栓は上水道とつながっていて飲み水になります!)



* この他にも、高輪消防署港南出張所にて消防艇・ポンプ車・救急車の見学、港南の郷にて福祉避難所の見学をしました。

防災ワンポイント

東京都では、災害時に徒歩で帰宅する方への支援として、コンビニエンスストア・ガソリンスタンドファミリーレストラン・都立学校・東京武道館（綾瀬）を災害時帰宅支援ステーションと位置づけています。



❗ 防災講演会 開催 - 3月3日 - 防災を継続するコツ「生活防災」

～あなたは何のために誰のために防災対策をするのですか～

今年度の防災講演会は「加古川グリーンシティ防災会 会長」（兵庫県加古川市・マンション7棟・584世帯）として活動されながら防災アドバイザーとして他地域への講演活動もされておられる大西賞典氏をお迎えし、ご講演いただきました。

平成10年より多様な世代の住民が楽しく参加できるアイデアに溢れた活動を進めながら、防災意識の普及活動を継続して行っておられます。

平成18年「防災まちづくり大賞」総務大臣賞受賞・防災功労者内閣総理大臣表彰受賞、平成22年に「防災まちづくり大賞」防災情報部門で消防庁長官賞を受賞。

「一人一人が防災を身近に感じてマイペースに取り組めば結果的にマンション全体の防災力がアップする」「自分たちの街は自分たちで守る」ということを具体例をあげてお話くださいました。



「生活防災」

- ・ 防災の為の工夫を普段の生活の中に組み入れることが長続きするコツ。
- ・ 少しだけ防災に興味をもってみたらその力は日々、上がっていき結果“命”が守られる。
- ・ 基本は「関心のあることから」「できることから」はじめてみよう。

❗ 港南中学校が 東京都消防総監賞 を受賞されました

東京消防庁 第15回地域の防火防災功労賞において、港南中学校が消防総監賞を受賞されました。

これまでの防災教育で積み重ねてきた成果が認められた、嬉しい受賞となりました。おめでとうございます。



災害に備える（給水バッグ）

災害時、生命維持に必要な水の量
大人1人につき、1日3ℓ
(ほとんどが飲料水)

- 平成23年3月に発生した東日本大震災では震源に近い東北地方で水道管が継手部分で外れるなどして断水が発生しました。このため、トイレやお風呂など生活用水の確保が困難となり、住民は長期間にわたり不便な生活を強いられました。震災時に給水を継続することの重要性が再認識されました。



応急給水訓練
(総合防災訓練時)



災害時の給水ステーション



「消火栓」

消火栓に**応急給水用資器材（スタンドパイプ）**を設置し**応急給水栓**から給水します。

消火栓は**上水道とつながっている**ので、飲むことができます。

この時、操作するのは**地域住民の皆さん**です。【消火活動としての利用も可】



「車両輸送」

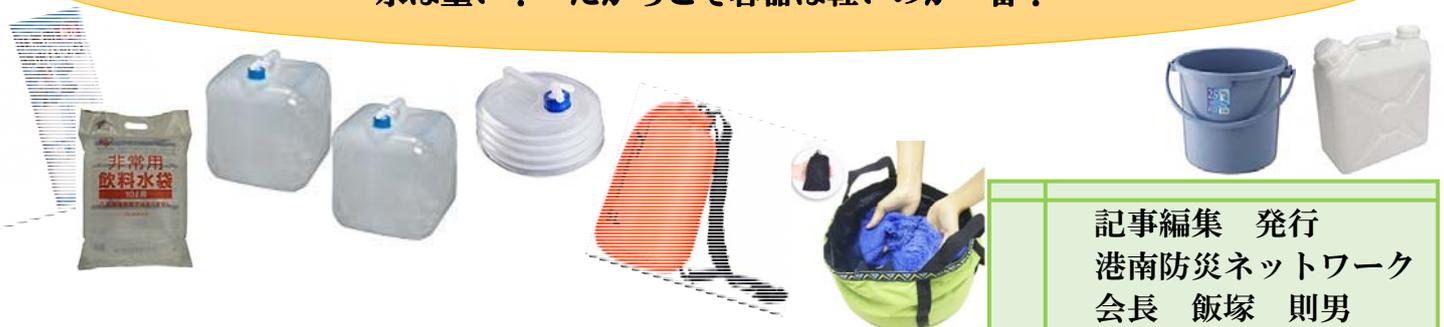


＜給水車＞や＜車載用のタンク＞を用いて被害が軽微であった浄水場や配水池の水を、避難場所や医療救護拠点まで運搬して配ります。－東京都水道局－

- * 災害時には生活用水も必要です！トイレ等のように飲料水以外の用途の水は港南公園D面の**応急給水槽**から給水したり、学校のプールの水をろ過し、使用する予定です。
- * 各家庭の備える飲料水の目安は最低1週間分（1日3ℓ×家族人数×7日間）
＜例＞ 3ℓ/1人×4人×7日間＝84ℓ
2ℓのペットボトルだと家族4人で42本の飲料水の備えが必要です。

給水を受ける際に役に立つ「給水バッグ」

水は重い！ だからこそ容器は軽いのが一番！



記事編集 発行
港南防災ネットワーク
会長 飯塚 則男